

■ 2004年10月31日(日曜日)

福のくから ふくらむ文化 羽ばたく未来

# 第20回 国民文化祭・ふくい2005

来年10月22日から11月3日にかけて、「第20回国民文化祭・ふくい2005」が福井県で開催されます。

全国各地からさまざまな文化活動を行っている方々が福井県に集まり、交流します。この大会の開催を通じて、夢、希望、そして新たな文化をふくらませ、明るく心豊かな未来へと飛躍することが期待されています。

1年後に迫った国民文化祭の概要と、準備に取り組む県民の皆さんをご紹介します。

## マスコットの「リュウリュウ」です

本県の豊かな自然のひとつ「海」と「恐竜」をモチーフに、県花の「水仙」を尻尾に付け、福井を丸ごとイメージした「リュウリュウ」くん。



- 「第27回全国高等学校総合文化祭」(平成15年度開催)
- 「第17回全国スポーツ・レクリエーション祭」(平成16年度開催)
- 「第20回国民文化祭・ふくい2005」(平成17年度開催)

共通のマスコット・キャラクター

## 国民文化祭とは

国民文化祭は、さまざまな文化活動に親しんでいる人たちが全国から集まり、練習の成果を披露し合い、そして交流する、国内最大の文化の祭典です。

本県の文化活動に刺激を与え、文化を中心とした地域の活性化、ひいては心豊かな生活の実現に大きな役割を果たすものと期待されています。

### 概 要

#### テーマ

福のくから ふくらむ文化 羽ばたく未来

#### 会 期

平成17年10月22日(土)～11月3日(木)

#### 総合フェスティバル

オープニングパレード	＝ 平成17年10月22日(土)	＝ 福井市フェニックス通り
開会式・オープニングフェスティバル	平成17年10月22日(土)	サンドーム福井
閉会式・グランドフィナーレ	平成17年11月 3日(木)	ハーモニーホールふくい

#### シンポジウム

繊維王国福井ならではの人々の暮らしや、精神文化、地域文化などをテーマに県内3カ所で開催します。

山と地域文化を考える	＝ 平成17年10月22日(土)	＝ 朝日町中央公民館
暮らしと精神文化	平成17年10月23日(日)	県生活学習館
人と繊維と文化	平成17年10月29日(土)	福井商工会議所

## 大会1年前を記念して

国民文化祭の開催を多くの方に知っていただ

き成功に導こうと、10月24日総合フェスティバルが開催され、多彩な企画により本番への気運を盛り上げました。



総合フェスティバルを開催しました  
(平成16年10月24日 サンドーム福井)

### 大会の概要

- ・表彰式  
総合ポスターデザイン受賞者  
モニュメント制作アイデア受賞者
- ・『新・ふくい和歌集』～三十四の魅惑～  
「郷土に寄せる思い」「福井豪雨」を題材に詠まれた短歌の入選作発表  
総合プロデューサー山根一真氏などによるステージ・トーク
- ・全国にアピールする5人の文化大使からのメッセージ
- ・イメージソング「糸」(作詞・作曲 中島みゆき)の披露
- ・地元生徒による演奏  
三国中学校合唱部 敦賀高等学校吹奏楽部 など

## 大会本番に向けて

第20回国民文化祭・ふくい2005では、パレードなどの総合フェスティバル、シンポジウム、音楽や演劇、県民自主企画事業などの分野別フェスティバルを合わせて、67の事業が県内全市町村で開催されます。これらの事業に参加を予定される皆さんは、大会本番に向け早くも練習に励んでいます。

## 来年に向けて今から準備に取り組む皆さん

音楽、演劇、伝統文化、文芸、美術など分野ごとに、各都道府県や全国規模の文化団体から推薦された団体を中心に、子どもから大人まで世代を超えて幅広い方々が参加し、公演や展示・展覧会などの事業が行われます。

## 室内楽フェスティバル(マリンバ)



マリンバの製造メーカーがある朝日町では、マリンバ演奏を中心とした室内楽の大会を開催するための準備を進めています。昨年から小中学生のグループによる練習を始め、現在、約20名が毎週1回、合奏の練習しています。

「いろいろな曲を覚えられるのが楽しい」「だんだん上手になるのがうれしい」と子どもたちも、来年の本番に向け一生懸命練習に励んでいます。本番のフェスティバルでは、子どもたちの元気で楽しげなマリンバの音が会場いっぱいに響くことでしょう。



マリンバの合奏練習をする子どもたち  
(平成16年10月21日 朝日町中央公民館)

## 県民自主企画事業 たちまち近松まつり

県民自らが企画、制作、実施する事業として応募があった中から「たちまち近松まつり」など9つの事業が選ばれています。

立待地区近松の里づくり  
推進委員会の皆さんからの  
メッセージ





人形浄瑠璃の上演や近松踊りの練習に  
取り組む立待地区の皆さん  
(平成16年10月27日 鯖江市立待公民館)

江戸時代の文豪近松門左衛門が幼年期を過ごした鯖江市立待地区では、史実を生かし、魅力あるまちづくりに向けた活動を行っています。

毎年9月には、「近松まつり」を開催し、県外の劇団による人形浄瑠璃の公演や史跡めぐりを通して、近松作品の情(こころ)に触れ、県内外の参加者の皆さんと感動を共有しています。

来年の国民文化祭では、「近松の里」を全国に情報発信し、人形浄瑠璃の上演や近松踊りの普及などによって、住民参加のまちづくりを一層飛躍させていきたいと考えています。

豊かな自然にはぐくまれた歴史と文化のふるさと「ふくい」の魅力を広く全国にアピールする国民文化祭。今年はそのプレイベントとして、さまざまな文化活動のプレフェスティバルが県内各地で開催されています。是非、ご来場いただき、深まりゆく文化の秋を体感し、来秋の本番に向けて県内の気運を盛り上げていきましょう。

## 問い合わせ先

第20回国民文化祭福井県実行委員会事務局

福井県福井市大手2丁目9-10

TEL : 0776(20)0730 FAX : 0776(20)0735

e-mail : [ryuryu@kokubun-fukui.jp](mailto:ryuryu@kokubun-fukui.jp)

ホームページ <http://www.kokubun-fukui.jp/>

